

# 株式会社 豊田技研

障害のある方一人一人が戦力となるように



## 社員の声



松井 健次さん  
(入社:平成18年3月)

### 会社の役に立てるように頑張りたいです

#### ・入社の経緯

ハローワークから株式会社豊田技研の紹介を受け、面接を経て入社しました。職場の皆さんに支えられて、現在まで特に大きな問題もなく勤務を続けています。

#### ・仕事に対する思い

現在はデータ入力業務を担当しています。資料を見ながらパソコンに入力しているため、打ち間違いがないように常に気を付けながら入力しています。私は身体に障害があるのですが、社内の移動や荷物を運ぶ時など、必要に応じて周りの方から自然にフォローをしていただけるため、大変助かっています。今後の目標としては、もっと他の業務を覚えて、会社に貢献したいと考えています。

#### ・障害者雇用を考えている事業所の方へ

障害のある方が企業で働けるかどうかは、実際に接し、仕事を任せしてみないと分からないと思います。一生懸命仕事に取り組む姿勢については、障害のない方にも負けていないと思うので、まずは実習などで障害のある方を受け入れ、働く姿を見てほしいと思います。

## 社員の1日のスケジュール

障害のある社員2名のうち、身体障害のある松井さんの仕事の様子を紹介します。

#### 8:25 作業開始

朝礼を行い、一日の作業の流れや、連絡事項などの確認をします。データ入力業務を行います。資料を見ながら入力をするため、打ち間違いがないようにしっかり確認しながら作業を進めていきます。

#### 12:20 昼食

食堂で他の社員と一緒に談笑しながら昼食をとります。

#### 13:00 作業再開

午前中の作業の続きを行います。作業が終わり次第上司に報告し、次の作業の指示を受けます。

#### 17:05 退社

日報を提出して退社します。



■データ入力業務  
製品の入出荷などのデータを、パソコンを使って入力します。



■コピー業務  
上司の指示のもと、指定された書類をコピーします。



■検査梱包業務  
製品を検査し、必要数を梱包します。(聴覚障害のある他の社員が検査を行っているところ)

## 雇用に際しての取り組み

### 障害特性に合わせた業務を

当社では、聴覚障害のある社員に検査・梱包業務を任せています。採用当初は加工プレスの業務を任せようと考えましたが、加工現場では音で危険を判断することもあるため、安全性を考え、現在の業務を担当してもらっています。筆談やジェスチャーを交えて指示を出し、確認しながら仕事を進めているため、障害のない社員と変わらない働きぶりを見せてくれています。



### 仕事の指示が伝わっているか確認をする

聴覚障害のある社員へ仕事の指示をする際は、指示の内容を理解しているかどうかを確認することが大切です。「理解した」と回答もらった後、違う作業を始めることもありましたが、聴覚障害のある社員が悪いのではなく、指示を出す側の確認不足が原因だと考えることが重要です。指示を出した後の確認を習慣化したことにより、障害のない社員同士でも確認するようになり、職場全体で業務効率が高まりました。



### 会社全体で支える意識

聴覚障害のある社員に対する仕事の指示は、主に筆談で行っていましたが、仕事以外のコミュニケーションの機会が少なくなってしまう、孤立感を感じさせてしまったことがありました。そのため、今では、休憩中に進んでコミュニケーションを取るようになり、社員のうち何人かは、手話を覚えようと勉強を始めるなど、会社全体で障害のある社員を支える意識づくりを行っています。



### 長い時間をかけて信頼関係を築く

障害のある社員に会社を好きになってもらい、前向きに仕事に取り組んでもらうためには、信頼関係が必要だと考えています。そのため、業務を進めていく中で、積極的にコミュニケーションを取り、上手にできた時には褒める、危険な作業をする場面を見たら注意するなど、真剣に向き合って接するように心掛けています。このような日々の積み重ねが信頼関係を築き、長期雇用につながっているのだと思います。



## 事業内容

株式会社豊田技研は、自動車照明用プレス製品分野での事業を中心に展開しています。充実した金型設備、生産設備から、CAD・CAMを駆使した精度の高い3次元形状プレス製品を提供しており、一枚の板材から立体的な形状の製品を作り出す技術において、世界中に数多くあるプレス加工メーカーの中でも高い評価を得ています。



## 障害のある社員の業務内容

- ・入出荷などのデータ入力業務
- ・自社製造製品の検査梱包業務



## 障害者雇用を検討される事業所のみなさまへ

### 障害のある方を分け隔てなく受け入れる体制が大切です



代表取締役  
豊田 信幸さん

#### 活躍できる仕事を見つける

障害の有無に関わらず、一人一人に適した業務を抽出し、さらには安全に取り組めることを第一に現場に配属することが重要です。当社のように製造業で機械を扱う業務が多い企業の場合、障害のある社員に怪我をさせてしまう危険性から、障害者雇用は難しいと考えてしまうかもしれませんが、使用する原材料の補充・検査後の梱包など、障害のある社員でも

活躍できる業務を見つけることができます。と思います。

#### 受け入れて分かること

障害のある方に自社の業務を任せられるかどうかを判断するには、実際にやらせてみないと分からないと思います。そのため、まずは実習制度を活用し、障害のある方を職場に受け入れて仕事をやってもらい、彼らの働きぶりを実際に見ることによって、雇用できると理解してもらえます。と思います。

## ■事業所データ

設立 1959年(昭和34年)  
常用労働者数 94人  
代表者 代表取締役  
豊田 信幸  
所在地 〒375-0055  
群馬県藤岡市  
白石2155番地

TEL:0274-40-7234  
URL:www.toyodagiken.co.jp



## ■会社概要

自動車の照明部品や精密プレス金型設計、製作を始め、耐熱塗装などを行っています。

## ■障害のある社員の雇用状況

障害のある社員数 2人  
うち重度障害のある社員数 2人

区分	身体	知的	精神
正社員	2人		
契約社員			
パート			
アルバイト			